



院長
伊藤 真理子
プロフィール

(いとう・まりこ) 1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の

女性の ま カ タ

骨粗しょう症(下)

骨粗しょう症になると
どんな弊害が生じるので
しょうか。

寝たきりになることも

まず重いものを持つた時や、軽い衝撃や転んだ時などに骨折しやすくなります。また背骨が変形したり、骨折すると身長が縮んで背骨が曲がります。

そして姿勢が悪くなれば内臓が圧迫され、呼吸が苦しくなったり胃腸の働きが弱まつたりします。腰や背中が痛むのも辛いものでしよう。

足の付け根の大腿骨骨折も深刻です。歩きにくく寝たきりになる可能性

が高まるからです。

特に原因ない原発性

骨粗しょう症を大別すると、特に原因が特定できない「原発性骨粗しよ

う症」と別の病気を原因とする「続発性骨粗しそう症」の2つがあります。加齢に伴う骨の減少は誰も避けられず、閉経後骨粗しそう症や老人性骨粗しそう症に属します。

病気に起因する続発性

卵巣を摘出したり無月経などで女性ホルモンが極端に不足している人、栄

養不良の人、糖尿病や胃を切除された人、一部の肺の病氣がある人、腎臓

の働きが弱まった人や副腎皮質ホルモン（ステロイド）が長期間必要な人などがてはまります。

目に見えるお肌の色ツヤなどと違い、見えない骨の変化は気付きにくい

医療機関での診断

まずは測定を!



もの。まずは医療機関で骨密度を測定し、年齢に見合った骨量なのか、それとも骨折のリスクの高い状態なのかを診てもらいましょう。

骨折しやすい場所と症状

背骨(脊椎)	腰痛 圧迫骨折で背中が曲がる
足の付け根 (大腿骨)	歩けない、寝たきり
肩	手が上がらない、激痛
手首	手首が曲がり激痛

医療機関では骨粗しそう症がどのタイプに属するのかを骨形成マーカーや骨吸収マーカー、カルシウムなどを使って測定し、最適な治療方法を選びます。骨粗しそう症の影響が実際にどの程度なのかを知るために、骨の骨折発生リスクを計算したりレントゲン撮影などを行つたりします。